

在日米軍再編に伴う米軍戦闘機訓練の分散・移転問題に対する苫小牧市の考え方について

在日米軍再編に伴う米軍戦闘機訓練の分散・移転問題については、去る10月31日に貴局からの中間報告に関する概要説明を受けたところではありますが、それ以降、今日まで訓練移転に関する具体的な内容が明らかにされず、11月21日付け当市が提出した「在日米軍再編に関する中間報告についての要確認事項」に対しましては、現時点において回答が得られていないところであり、また、関係自治体に対する事前協議が無かったことにつきましても、誠に遺憾に感じております。

当市では、これまでも自衛隊機や民間航空機による騒音問題を抱えており、仮に千歳基地への訓練移転となれば、これまで以上の騒音拡大は必至であるとともに、訓練事故や治安面に対する不安も懸念され、地域住民に与える影響が極めて大きいものと考えております。

私としては、市民の安全と生活環境を守ることが最大の責務と考えており、市民に対して、その不安を払拭するだけの判断材料を示すことができない現在、「千歳基地への訓練移転を受け入れることは容認できず、受入れ難しい」と判断するものであります。

なお、今後におきましては、積極的な情報提供と関係自治体に対する誠意ある対応を強くお願い申し上げる次第であります。

平成17年12月5日

札幌防衛施設局

局長 土屋 龍 司 様

苫小牧市長 櫻 井 忠